看護婦派出の求めに應ず
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

揃ひました
いろ〳〵な
新形洋服が
値段は昨年より二割安
立襟上下　拾圓ヨリ
春廣三組　十三圓五十錢ヨリ
オーバー　六七圓位ヨリ
其他變つた新形洋服を澤山取揃ひてあります
十字屋洋服店
平停車場前通り

メアードブ
名産は水飴に多量の藥用生葡萄酒を混合して製造したる滋養品にて變質することなく贈答品に適す
發賣元
佐藤ブドー酒店
構内賣
久保田バンヤ
電話八〇四番
山十蘭乾燥場に三月末日迄居住致居りますから宜敷御願致します（電話四五六）

痔疾最新内服藥
ダイサン錠
是非御試し下さい
二圓五十錢六個入
山野邊藥局

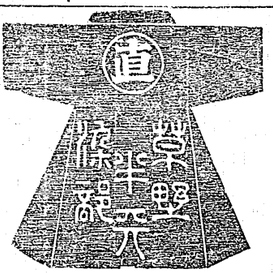
移轉廣告
弊院從來平町驛前通りに於て診療に從事致居り候處今回中田町（舊診療所の裏通り）に新築移轉し從前通り一般診療に從事可致候
平町中田町七十一番地
新築移轉所　合津耳鼻咽喉科醫院
電話五五九番

耳鼻咽喉科專門
大和田醫院
平南町（電話一七〇番）

平町田町（横内醫院跡）
佐川齒科醫院
院長　齒科醫學士　佐川
技工主任　平井要三郎　渉
（電七五九）

磐城共濟病院
平町（電話六四一番）
■内科　小兒科
院長　醫學博士　難波　睦
内科部長　粟野省三（不日來任）
■外科・皮膚泌尿科
外科部長　木村　淳
■産科　婦人科
産婦人科部長　五十嵐雄二
■藥局　藥劑士　吉本孝平
病院主事　賀澤忠治

原齒科醫院
平町上橋通り電話二一番



金牌優秀品の証明
印半天專門
受領
草野染工場
電話三四八番
磐城平町
◎徒弟入用
徒弟契約ニ付テハ年明キニ際シ有利ニ御相談申上候

動脈硬化症、腦溢血特効劑
青麻山中風藥
定價　週分九〇　二週分一、七〇　三週分二、五〇
男女中風症　半身不隨　言語難澁　氣血不順等
他藥にて癒ざる人々是非御試用を勸む
代理店　山野邊藥局

常磐第一ノ磐城炭礦ノ石炭
大炭礦ナル
㋜石炭ト
コークスノ特長
一、目方ノ正確
二、品質ノ優良
三、配達ノ迅速
ドーシテアンナ良イ品ヲソンナニ安ク賣レルカト驚カレ一度使ヘバ永久ニ使ヘ下サルノガ當店石炭ト『コークス』ノ特長
石炭は正十貫目　一俵金六十五錢也
平驛前
㋜阿部石炭商店
（電話二三七番）

平紺屋町
石田眼科醫院

大正十二年十一月八日第三種郵便物認可　常磐毎日新聞（第一千二百三十七號）（一）

常磐毎日新聞

二月二十一日夕刊

定價　一部金貳錢　一ヶ月卅錢　廣告料　五號一行　五十錢　休刊日　毎月一日大祭日　稅金　五厘

發行兼編輯人　川崎文治
本社ト同番地（電話六三〇番）
印刷所　磐城毎日印刷所

福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社
電話六三〇番

常磐文藝

——鶯——

片寄泰治

鶯が鳴くと
家でも樹木でも草でも
あらゆるものが鳴りをひそめて
その妙音にきゝとれてゐる
やうだ
あたりは靜まり返つて
また起る新たな囀りが
とりわけ美しく響き渡る。

——踞む女——

運の上に踞んで
赤ん坊をあやしてゐる
若い女の美しさ
踞んだ姿勢は
平和で靜かで
別して親しみ深い。

短歌

逝きし麗子に　宵紅兒

◇

觀客のさはげる中にわれら
そと手を取り合ひぬ初戀の
夜や

◇

うなづきてそのまゝ默すおん胸のわもひぞいかにうるわしきかや

◇

少女らのむれより君は見かへりてわかまみにそと笑をおくりぬ

◇

うれしさを包みあましてそともらす君が微笑のうるはしきかな

◇

ひそやかに志のび來て君がたゞづめる心地のみしてあくる夜の窓

◇

わかれなばまた逢ふよしもなきなれどうなぢを抱きしぬびねに泣く

一册の代金で御希望通りな五册の雜誌が自由に讀める
川崎巡回文庫
電話六三〇番
（申込次第規則書進呈）

政府黨必ず勝つと自信のある鈴木内相

不自然なる幻影は消滅した

（東京電話）恐らくは昨日の投票においてはこの過去の遺物たる現象不自然なる幻影は消滅して、現在における地方の政情はその儘自然に發露せられ、即ち本來多かるべきものはその儘多く少きものは自ら少からしむるといふ

自然の 大法則に律せられて落付くべき處に落付き政友會は多數を得ることが當然である、而して選擧を取締るべき立場にある政府は飽までも至公至平であつたのは今更いふまでもない府縣會議員選擧の際における約二割六分五厘といふ棄權率に顧み

政府は その後國民一般に對し棄權は立憲國民としての一大罪惡であることを警告し今回の選擧には是非棄權しないやうにといふ趣旨をあまねく徹底せしめたいのである、投票日の昨日特にその注意を喚起するためにする宣傳、僞計

官憲に 對する不當の牽制故なき告訴、告發沙汰も相當に行はれ、その他買收請託等の違反も多少あつたやうであるがその大體を達視するに憲政史上の畫時代的である此選擧は極めて自由公正に又比較的おだやかに靜粛に行はれたとは

邦家の ため誠に慶賀に堪へない次第であると鈴木内相は語つた

大いに增加

平町紹介所の少年職業紹介

平町職業紹介所では目下石城郡内小學校と連絡をとり盛んに少年の職業紹介につとめてゐるが各小學校から

本日まで 就職希望を申し出たものは東京の松坂屋呉服店の店員希望十名を筆頭に東京方面に二十五名平町を始め地方の商店員希望官公署の給仕志望者二十四名計四十九名で今後も續々申し込みがあるものと豫想され係員は全國の紹介所と連絡をとり

大多忙の 形だが求人申込みは地方の商店會社等から二十七名東京方面から二十五名その他で約六十名前年に比べはるかに超過し求人求職共に驚く程の增加を示してゐる

繭市場資金

一口五圓づゝ

石城販賣利用組合の繭市場業績は例年頗る良好を示し益々利用者激增の趨勢をたどりつゝあれど現在の出資額約三萬圓にては資金不足にて充分なる擴張を爲す能はざる狀態にあるので本年春繭取り引期以前に更に一萬圓の拂込をなさしめんと一口に對し五圓宛の拂込みを組合員に對し通告中で期日は三月十五日限りである

木村、比佐、松本三氏當選確實の見込み

▽……けふの平開票所

待ちかねた今日の開票日に平開票所たる元郡會議事室前には各候補事務所からの使者を初め有權者の多數が押し掛けて定刻を待つ間程なく入口は開かれ雪崩れの如く入場瞬時にして場内は埋つたが選擧長は尾戸事務官にて各候補からの立會人は木村派が千葉彦治氏、比佐派は荻原義雄氏、氏家派野崎滿藏氏、松本派加納五郎氏先づ好間村の投票箱を開く、午後二時迄判明した分は左記の如くにて各候補の當落は未だ容易に逆賭し難いが木村、比佐、松本の三氏は當選確實との見込みが充分についたらしい

今迄の樣な豫想は駄目番狂せがある

けふの開票の結果に就いてその勝負如何が選擧民の心を唆つて止まない有樣であるが今回の選擧觀測を爲すに當り往々大正十三年當時の小選擧區にして制限選擧に於ける實績を標準として專ら判斷臆測を爲す向きが多いが之れは今回の中選擧區にして普選の際には當らない事で意外の大番狂せがあるさうに觀測されて居る

| | | |